

補助事業番号 20-4-002

補助事業名 平成20年度 市民参加型「エコ・サイクリング」による地域振興
補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人河口湖自然楽校

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自然環境と体にやさしい自転車を活用し、日本の象徴であり、世界文化遺産の正式登録をめざしている富士山麓において一周サイクリングを開催する。静岡、山梨両県及び関係市町村の協力のもと、広く自転車愛好者の参加を求め、コース上の各地において地域住民との交流や豊かな自然を満喫し、また自然の大切さを学ぶ自然体験教室を開校して、自然環境保護に対する自転車の存在価値をアピールすると共に、大会会場の富士山麓においてクリーンアップ活動を展開することによって、富士山の貴重な自然環境保全の意識を高揚し、自転車を通じて富士山麓に新たな観光誘致の方策とする。

また、大会メイン会場は、雄大な富士の裾野に2万㎡の敷地を持つ、日本初の盲導犬の育成総合センターである「盲導犬の里富士ハーネス」の全面的な協力を得て、この地をサイクリングの発着所として活用することにより、来場者に盲導犬に対する理解を深め、もって地域振興に寄与する。

(2) 実施内容

ア 富士山一周サイクリング

平成20年9月7日日曜日にサイクリング愛好者を対象に、国道469号線、国道138号線、国道139号線、県道75号線のコースを使用し、日本を代表する景勝地の富士山一周約100kmのスピードを競う競技ではなく、交通法規を遵守しながら規程の時間内に完走を目指すサイクリングを行った。1,010名の申し込みがあり、912名が参加し、889名が完走した。

イ ファミリーサイクリング

平成20年9月7日日曜日にファミリーサイクリング愛好者を対象に、富士ハーネスをスタートして田貫湖周辺を廻る約20kmのスピードを競う競技ではなく、交通法規を遵守しながら規程の時間内に完走を目指すファミリーサイクリングを行った。

ウ 自然体験教室の開校

富士山一周サイクリングの参加者を対象に、各エイドステーションにおいて富士山麓各地の特色ある自然や文化を学ぶ自然体験のワークショップを設置して自然の大切さの啓発や地域住民との交流を図った。

エ 富士山クリーンアップ活動（講習会・実践活動）

NPO法人富士山クラブと協力して2008Mt. Fujiエコ・サイクリン

グ（自然体験ツアー）の参加者全員を対象に、大会前日の9月6日土曜日に eco 講習会＝富士山クリーンアップセミナー（大会会場は日本盲導犬総合センター・受講者500名）と富士山周辺に不法投棄されたゴミを収集するクリーンアップ実践活動（参加者120名）をしながら環境保全を行った。

オ 視聴覚障がい者を対象にしたタンデムサイクリング

健常者をパイロットに視覚障がい者をコ・パイロットにしたタンデムサイクリングをファミリーコースの折り返しになる田貫湖サイクリングコースにおいて開催し、12名の視覚障がい者の方がタンデムサイクリングを体験した。

カ 盲導犬に対する理解を深めるイベント

日本盲導犬総合センターにおいて、6日7日の両日、4回にわたり来場者に対し、盲導犬のデモンストレーションや盲導犬体験を行った。（500名）

2. 予想される事業実施効果

この大会は、平成20年度が2回目となるが、事業の目的を達成するために毎年継続して開催を計画しており、回を重ねて周辺自治体の協力を得ながら参加者及び報道機関に対し大会の認知度を高めることにより自転車乗用が環境保全に有用であることのアピールの浸透や自然環境保護意識の向上が期待でき、また富士山一周を含め、周辺のサイクリングコースの認知度を高め、従来の観光目的とは異なった層の集客が期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物

参加者用プログラム/コースマップ（A2版4回折フルカラー）

2008Mt. Fujiエコ・サイクリング大会報告書（A4版8頁フルカラー）

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人 日本サイクリング協会

（ザイダンホウジンニホンサイクリングキョウカイ）

住所：107-0052

東京都港区赤坂1-9-3日本自転車会館3号館5階

代表者名：会長 谷垣 禎一（タニガキ サダカズ）

担当部署：業務第1部

担当者名：業務第1部業務係長 矢島 淳（ヤジマ ジュン）

電話番号：03-3583-5628

F A X：03-3583-5987

E-mail：jca@j-cycling.org

U R L：http://www.j-cycling.org/